

かつお・まぐろ漁業等に係る操業日誌の様式について

令和2年12月1日付け2水管1745号

水産庁資源管理部長通知

第1. 趣旨

かつお・まぐろ漁業及び大中型まき網漁業（太平洋中央海区又はインド洋海区に限る。）（以下「かつお・まぐろ漁業者等」という。）の操業日誌については、漁業の許可及び取締り等に関する省令（昭和38年農林省令第5号。以下「省令」という。）第26条第1項の規定に基づき、記載事項を別に定める告示として、平成19年7月25日農林水産省告示第965号（操業日誌の記載義務について海域、記載時期及び記載事項を定める件）（以下「告示」という。）が定められているところ。

本通知により、告示に定められる記載事項を含む操業日誌の様式を定める。

第2. 様式

かつお・まぐろ漁業者等は、次の各号に掲げる場合に应じ、当該各号に定める操業日誌を水産庁資源管理部国際課かつお・まぐろ漁業班宛てに提出することとする。

- (1) かつお・まぐろ漁業（総トン数120トン以上の動力漁船により、浮きはえ縄を使用するものに限る。）を営む船舶であって、かつ、大西洋の海域（地中海を含む。）において、操業、航行又は寄港（ケープタウンを含む。）を行う場合
別添1
- (2) かつお・まぐろ漁業（総トン数120トン以上の動力漁船により、浮きはえ縄を使用するものに限る。）を営む船舶であって、かつ、大西洋の海域（地中海を含む。）において、操業、航行又は寄港（ケープタウンを含む。）を行わない場合
別添2
- (3) かつお・まぐろ漁業（総トン数120トン未満の動力漁船により、浮きはえ縄を使用するものに限る。）を営む船舶の場合
別添3
- (4) かつお・まぐろ漁業（釣りによる漁業）を営む船舶の場合
別添4
- (5) 大中型まき網漁業（太平洋中央海区に限る。）
別添5－1
- (6) 大中型まき網漁業（インド洋海区に限る。）
別添5－2

第3. 漁獲成績報告書との関係について

省令第26条第3項に基づき、第2に規定する様式による操業日誌の提出をもって、漁業法（昭和24年法律第267号）第52条第1項の規定に基づく報告を行ったものとみなす。

（連絡先）

水産庁資源管理部国際課かつお・まぐろ漁業班

住所：〒100-8907

東京都千代田区霞ヶ関1丁目2番1号

電話：03-6744-2364

FAX：03-3591-5824

附 則

- 1 本通知は、指定漁業の許可及び取締り等に関する省令の一部を改正する省令（令和2年農林水産省令第48号）の施行の日（令和2年12月1日）から施行する。
- 2 「操業日誌の様式の改正について」（平成24年12月13日付け24水管第1921号水産庁資源管理部長通知）、「操業日誌の様式（遠洋かつお・まぐろ漁業）の改正について」（平成26年10月1日付け26水管第1441号水産庁資源管理部長通知）、「操業日誌の様式（近海かつお・まぐろ漁業）の改正について」（平成26年10月1日付け26水管第1441号水産庁資源管理部長通知）及び「操業日誌の様式（遠洋まぐろはえ縄漁業）の改正について」（平成28年8月1日付け28水管第741号水産庁資源管理部長通知）は、本通知をもって廃止する。

様式1:大西洋入域船用(Format 1: For vessels which enter Atlantic Ocean)

<本紙を含めて船上保持すること>

農林水産大臣 殿

ATTN: Your Excellency, Minister of Agriculture, Forestry and Fisheries of Japan

住所
Address氏名又は名称
Name of Ownerかつお・まぐろ漁業に係る操業日誌(総トン数120トン以上の動力漁船により、浮きはえ縄を使用するものに限る。)
The Logbook for Large Scale Tuna Longline Vessels報告書総数(本紙含む)全 枚
Total pages including this covering sheet

報告年月日 Reporting date	年 月 日 Year Month Date	報告取扱責任者名 Name of Person in charge of reporting	TEL ()
船長名 Name of Master		船長住所 Address of Master	
出港年月日 Departure Date	年 月 日 Year Month Date	港 (PORT)	
入港年月日 Port Entering Date	年 月 日 Year Month Date	港 (PORT)	
航海日数 Number of Navigation Days	日 (Days)	操業回数 Number of Operation	回 (times)

船名 Name of Vessel			信号符号 Call Sign		許可番号 License No.	T 第 号
総トン数 Gross Tonnage	トン (tons)	漁船全長 Overall Length	m	漁船登録番号 Register Number		
RFMO 登録番号 RFMO Record No.	ICCAT				IOTC	
	IATTC	CCSBT				WCPFC
乗組員数 Number of Crews	人		IMO番号 (有している場合のみ記入) IMO No. (If available)			

漁業種類 Type of Fishing Gear	1. かつお・まぐろ漁業(専業) Large Scale Tuna Longliner (Standard Abbreviation of ISSCFG: LLD)	
漁具 Fishing Gear	操業方法 Operation Method	1. メカ縄(Swordfish Longliner) 2. サメ縄(Shark Longliner) 3. その他(Other)
	幹縄の種類 Material of Main line	1. クレモナロープ Thick rope (Cremona rope) 2. ポリエステル又はその他のロープ Thin rope (Polyethylene or other materials) 3. 編んだナイロン Nylon braided 4. 一本のナイロン Nylon monofilament
	枝縄の種類 Material of Branch line	1. ナイロン(Nylon) 2. その他(Other)

漁具の仕立て Dimension of Fishing Gear	
枝縄長 Length of Branch line	m
浮縄長 Length of Buoy line	m
枝縄間隔 Interval of Branch line	m

* 換算係数は別紙記載のとおり(The conversion factor is as described in the attached paper.)

＜本紙を含めて船上保持すること＞

原魚重量への換算方法について Conversion Factors for Round Weight

原魚重量は以下の数式により計算すること。
Round weight is calculated by the formula below.

計算において、A及びBの値については以下の数値を用いること。
The values of A and B in the formula are as described in the box below.

$$\text{原魚重量 (kg)} = A \times \text{製品重量 (kg)} + B \text{ (kg)} \times \text{尾数}$$

$$\text{Round Weight (kg)} = A \times \text{Processed Weight (kg)} + B \text{ (kg)} \times \text{Number of pieces}$$

魚種名 (Species)	FAOコード (3A_CODE of FAO)	原魚換算係数 (Conversion Factors)	
		A	B
くろまぐろ	BFT/PBF	1.16	0
みなみまぐろ	SBF	1.15	0
びんなが	ALB	1	0
めばち	BET	1.13	0
きはだ	YFT	1.13	0
めかじき	SWO	1.33	0
まかじき	MLS/WHM	1.098	3.655
くろかじき	BUM	1.2	0
しろかじき	BLM	1.159	1.834
ばしょうかじき	SFA/SAI	1.2	0
ふうらいかじき	SSP	1.157	5.517
かつお	SKJ	1	0
よしきりざめ	BSH	2.1	0
ねずみざめ	POR/LMD	1.8	0
あおざめ	SMA/MAK	1.6	0
その他さめ類	— (Other Sharks)	1.2	0
がすとり	BUK	1.2	0
その他の魚類	— (Other fish)	1.2	0

かつお・まぐろ漁業に係る操業日誌(総トン数120トン以上の動力漁船により、浮きはえ縄を使用するものに限る。)(The Logbook for Large Scale Tuna Longline Vessels)

Signature of Master
船長署名

Signature of Observer (if applicable)
オブザーバー署名(該当ある場合)

Page
頁

船名丸

許可番号第号

信号符字

年 月〔上旬(1～10日)、中旬(11～20日)、下旬(21日～月末)〕

出港年月日 年 月 日

日 Date	操業開始位置 * Position at starting to set the gear *				Activity (streaming / fishing / drifting) 航行・操業・漂流の種	sea surface temperature 表面温度 ℃	Number of hooks (一鉢当り釣数) 浮玉間の釣数	Total number of hooks used in the set 使用つり釣数	Number of light sticks used in the set 発光体の使用数	餌の種類 Type of bait used in the set	Time of starting setting the gear 投縄開始時刻	Bycatch mitigation measure 混獲回避措置	魚種別漁獲量 (左側には尾数を、右側上段には製品重量(kg)を、右側下段には、原魚重量(kg)を記入すること。) Box of Left side : Number of pieces, Upper Box of right side : Processed weight(kg), Lower Box of right side :Round weight (kg)				
	まぐろ類 (Tunas)																
	くろまぐろ BFT/PBF	みなみまぐろ SBF	びんなが ALB	めばち BET													
①	度・分	N の S 別	度・分	E の W 別													
②																	
③																	
④																	
⑤																	
⑥																	
⑦																	
⑧																	
⑨																	
⑩																	
⑪																	
陸揚等年月日 Date of offloading	陸揚港 (港名・国名) Port of offloading (Name・Country)		転載港 (港名・国名) Port of transshipment (Name・Country)		洋上転載の位置 Position of transshipment at sea (Lat/Long)				(1)陸揚等尾数合計 Total number of pieces of offloading								
	度・分		度・分		N S	度・分	E W	度・分	(2)陸揚等重量 合計(トン/tons) Total weight of offloading								
運搬船名 Name of carrier vessel			運搬船の船籍 Flag of carrier vessel			運搬船のRFMO番号 RFMO No. of carrier vessel											

* 操業を行わなかった日については、正午位置を記載すること。
* Noon position must be recorded in case no operation is conducted during the day.

日	魚種別漁獲量(左側には尾数(「その他のさめ類」については、魚種No.及び尾数)を、右側上段には製品重量(kg)、右側下段には原魚重量(kg)を記入すること。) Box of Left side : Number of Pieces, Upper Box of Right side: Processed weight(kg), Lower Box of Right side : Round weight (kg)															
	まぐろ類(Tunas)		かじき類(Billfish)						かつお SKJ	がすとろ BUK	その他の魚類 Other fish	さめ類(Sharks)				
	きはだ YFT	めかじき SWO	まかじき MLS/WHM	くろかじき BUM	しろかじき BLM	ばしょうかじき SFA/SAI	ふうらいかじき SSP	よしきりざめ BSH				あおざめ SMA/MAK	その他さめ類 Other Sharks			
①															()	()
②															()	()
③															()	()
④															()	()
⑤															()	()
⑥															()	()
⑦															()	()
⑧															()	()
⑨															()	()
⑩															()	()
⑪															()	()
(1)(2)															()	()

魚種No.: 「10」:めじろざめ類(GCP)、「11」:よごれ(OCS)、「12」:くろとがりざめ(FAL)、「20」:おながざめ類(THR)、「21」:にたり(PTH)、「22」:はちわれ(BTH)、「23」:まおなが(ALV)「30」:しゅもくざめ類(SPN)、「31」:いんどしゅもくざめ(EUB)、「32」:ひらしゅもくざめ(SPK)、「33」:しろしゅもくざめ(SPZ)、「40」:ねずみざめ類(MSK)、「41」:ねずみざめ(POR/LMD)「80」:その他のさめ類(SKH)

使用した餌の種類No: 「1」:魚のみ(Only fish)、「2」:イカのみ(Only squid)、「3」:魚・イカ混合(Fish and squid)、「4」:その他(Others)

混獲回避措置No: 「1」:トリライン1本(Single tori-line)、「2」:トリライン2本(Double tori-line)、「3」:夜間投縄(Night setting)、「4」:加重枝縄(Weighted line)、「5」:舷側吹流し・加重枝縄を併用した舷側投縄(Side setting with a bird curtain and weighted branch lines)、「6」:青色染色餌(Blue-dyed bait)、「7」:投縄機(Deep setting line shooter)、「8」:水中投縄機(Underwater setting chute)、「9」:残さ排出管理(Management of offal discharge)、「10」:実施せず(Not implemented)

重量の把握方法は次のとおりとする:(製品重量)船上での重量実測・計数、(原魚重量)別添換算係数による推計
Means of weight measure are as follows: (Processed weight) Weighing on board and counting, (Round weight) Estimation by attached conversion factor

【操業日誌の記載要領】

1. 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 版とする。
2. 操業日誌は別紙様式を表紙（1 枚目）、別紙「原魚重量への換算係数について」を 2 枚目とし、以下時系列順に綴じた状態で船上保持すること。提出する場合も同様とすること。
3. 報告取扱責任者の欄には、操業日誌の作成責任者の氏名のほか、その者の連絡先として電話番号を必ず記載すること。
4. 出港年月日及び入港年月日の欄には、出入港した港の名称を必ず記載すること。
5. 航海日数及び操業回数の欄には、航海期間（出入港日を含む。）の日数及び操業回数の合計をそれぞれ記載すること。
6. RFMO 登録番号の欄には、各地域漁業管理機関における登録番号を記載すること。登録番号を取得していない場合は「なし」と記入すること。
7. 乗組員数の欄には、外国人船員を含めた乗組員の総数を記載すること。
8. 操業日誌は、航海中毎日記載することとし、航海期間については、本邦又は外国の港を出港した日から次の港（外国の地を含む。）に入港した日までの間とする。
9. 操業日誌は、旬毎に一枚記載することとする。
10. 漁具の欄は、該当するものを○印で囲むこと。（1 航海中複数の操業方法を用いた場合には、最も多く用いた操業方法を○印で囲むこと。）
11. 幹縄の種類欄は、幹縄にロープ系を用いた場合、クレモナのときは 1 を選択、その他の素材（例、テトロン、ベクトラン、ポリエステル、ナイロン短繊維、ダイニーマなど）は 2 を選択すること。幹縄にナイロン素材とは異なる透明もしくは半透明の素材（例、シーガー等）を用いた場合もナイロンとみなして記入すること。
12. 漁具の仕立ての欄については、枝縄長の欄にはスナップから ^{はり} 鉤 までの長さを、受け縄（浮玉）長の欄には浮玉から幹縄までの長さを、枝縄間隔の欄には幹縄における隣り合う枝縄の間隔をそれぞれメートル単位で記載すること。
13. 日の欄については、出港日から入港日まで毎日の日付を記載すること。
14. 操業開始位置の欄は、操業を行った日は操業開始位置とし、操業を行わなかった日（航行のみを行った日、魚群の探索のみを行った日、漂泊日）は正午位置とし、緯度及び経度の度分の欄には、必ず分単位までを記載し、N・S の別及び E・W の別の欄は、該当するものを○で囲むこと。
15. 航行・操業・漂泊の違いの欄には、操業開始位置（操業を行わなかった日（航行のみを行った日、魚群の探索のみを行った日、漂泊日）については、正午位置）におけるそれぞれ該当するものを記載すること。
16. 表面温度℃の欄には、操業開始位置（操業を行わなかった日（航行のみを行った日、魚群の探索のみを行った日、漂泊日）については、正午位置）における表面水温を小数点第 1 位まで記載すること。
17. 浮玉間の ^{はり} 鉤 数の欄には、浮玉間（一鉢当たり）の ^{はり} 鉤 又は枝縄の数を記載すること。
18. 使用つり鉤数の欄には、当該操業に使用したつり鉤の総数を記載すること。
19. 発光体使用数の欄には、当該操業に使用した発光体の総数を記載すること。なお、発光体を使用しなかった場合は 0（ゼロ）を記載すること。
20. 餌の種類欄には、当該操業に使用した餌の種類番号を記載すること。餌の種類番号は順に、「1」：魚のみ(Only fish)、「2」：イカのみ(Only squid)、「3」：魚・イカ混合(Fish and squid)、「4」：その他(others)とする。魚及びイカ以外を一部でも使用した場合は「4」のその他を選択すること。
21. 混獲回避措置の欄には、混獲回避措置番号を記載すること。混獲回避措置番号は順に、「1」：トリライン 1 本(Single tori-line)、「2」：トリライン 2 本(Double tori-line)、「3」：夜間投縄(Night setting)、「4」：加重枝縄(Weighted line)、「5」：舷側吹流し・加重枝縄を併用した舷側投縄(Side setting with a bird curtain and weighted branch lines)、「6」：青色染色餌(Blue-dyed bait)、「7」：投縄機(Deep setting line shooter)。

- 「8」：水中投縄機 (Underwater setting chute)、「9」：残さ排出管理 (Management of offal discharge)、「10」：実施せず (Not implemented) とする。
22. 魚種別漁獲量の欄には、左側には漁獲尾数（その他のさめ類については、魚種番号及び漁獲尾数）を、右側の上段には漁獲物の製品（以下単に「製品」という。）の重量を、右側の下段には別添の換算係数により推計した原魚重量をキログラム単位で記載すること。魚種番号は順に、「10」：めじろざめ類、「11」：よごれ、「12」：くろとがりざめ、「20」：おながざめ類、「21」：にたり、「22」：はちわれ、「23」：まおなが、「30」：しゅもくざめ類、「31」：いんどしゅもくざめ、「32」：ひらしゅもくざめ、「33」：しろしゅもくざめ、「40」：ねずみざめ類、「41」：ねずみざめ、「80」：その他のさめ類、とする。
23. 陸揚等年月日の欄は、製品を陸揚げ又は転載した時の年月日を記載すること。
24. 陸揚港（港名・国名）の欄は、製品を陸揚げした際における港名と国名を記載すること。
25. 転載港（港名・国名）の欄は、製品を転載した際における港名と国名を記載すること。
26. 洋上転載の位置の欄は、洋上転載した際に記載するものとし、緯度及び経度の度分の欄には、必ず分単位までを記載し、N・Sの別及びE・Wの別の欄は、該当するものを○で囲むこと。
27. 運搬船名の欄は、製品を転載した運搬船名を記載すること。
28. 運搬船の船籍の欄は、運搬船の船籍を記載すること。
29. 運搬船の RFMO 番号の欄は、運搬船の RFMO（地域漁業管理機関）番号を記載すること。
30. 製品を陸揚げ又は転載した旬において、（1）陸揚等尾数合計及び（2）陸揚等重量合計（トン）の欄（太枠内）に当該陸揚げ又は転載に係る魚種ごとの尾数の合計、総製品重量及び総原魚重量の合計をそれぞれ記載すること。

混獲生物等の情報

船長署名

船名	丸	許可番号	第	号	信号符字
年 月 【上旬(1～10日)、中旬(11～20日)、下旬(21日～月末)】					出港年月日 年 月 日

年 月 日	放流又は投棄した魚類						
	マグロ・カジキ類		サメ類				
			ヨシキリザメ	ネズミザメ	アオザメ	その他のサメ類	
(1) . .	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()	尾数	尾数	尾数	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()
(2) . .	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()	尾数	尾数	尾数	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()
(3) . .	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()	尾数	尾数	尾数	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()
(4) . .	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()	尾数	尾数	尾数	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()
(5) . .	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()	尾数	尾数	尾数	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()
(6) . .	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()	尾数	尾数	尾数	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()
(7) . .	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()	尾数	尾数	尾数	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()
(8) . .	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()	尾数	尾数	尾数	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()
(9) . .	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()	尾数	尾数	尾数	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()
(10) . .	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()	尾数	尾数	尾数	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()
(11) . .	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()	尾数	尾数	尾数	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()

年 月 日	カ メ 類						鳥 類				
	アカ ウミガメ	アオ ウミガメ	オサガメ	タイマイ	ヒメ ウミガメ	その他のカメ類 及び不明	アホウドリ類	ミズナギ ドリ類	オオフルマ カモメ類	ペンギン類	その他の鳥類 及び不明
(1)	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()
(2)	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()
(3)	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()
(4)	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()
(5)	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()
(6)	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()
(7)	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()
(8)	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()
(9)	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()
(10)	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()
(11)	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()

マグロ・カジキ類 魚種No.: ①クロマグロ、②ミナミマグロ、③ビンナガ、④メバチ、⑤キハダ、⑥メカジキ、⑦マカジキ、⑧クロカジキ、⑨シロカジキ、
⑩バショウカジキ、⑪フウライカジキ、⑫カツオ、⑬種不明
サメ類 魚種No. 「10」:メジロザメ類、「11」:ヨゴレ、「12」:クロトガリザメ、「20」:オナガザメ類、「21」:ニタリ、「22」:ハチワレ、「23」:マオナガ
「30」:シュモクザメ類、「31」:インドシュモクザメ、「32」:ヒラシュモクザメ、「33」:シロシュモクザメ、「80」:その他のサメ類、「90」:種不明

【混獲生物等の情報の記載要領】

1. 混獲生物等の情報は、航海中毎日記載すること。
2. 混獲生物等の情報は、旬毎に一枚ずつ記載すること。
3. カメ類・鳥類：上段の総混獲数、下段にその生存数（甲板上に引き揚げた時に生存していたもの）を記入する。全くない場合は0（ゼロ）を記入し、不明の場合は、その他及び不明の欄に記入する。

4. 放流又は投棄した魚類

（1）マグロ・カジキ類

尾数と魚種番号を記入する。全くない場合は0（ゼロ）を記入する。魚種番号は順に、①クロマグロ、②ミナミマグロ、③ビンナガ、④メバチ、⑤キハダ、⑥メカジキ、⑦マカジキ、⑧クロカジキ、⑨シロカジキ、⑩バショウカジキ、⑪フウライカジキ、⑫カツオ、⑬種不明、とする。

（2）サメ類

ヨシキリザメ、ネズミザメ、アオザメは尾数を、その他のサメ類は尾数と魚種番号を記入する。全くない場合は0（ゼロ）を記入する。魚種番号は順に、「10」：メジロザメ類、「11」：ヨゴレ、「12」：クロトガリザメ、「20」：オナガザメ類、「21」：ニタリ、「22」：ハチワレ、「23」：マオナガ、「30」：シュモクザメ類、「31」：インドシュモクザメ、「32」：ヒラシュモクザメ、「33」：シロシュモクザメ、「80」：その他のサメ類、「90」：種不明、とする。

様式2: 大西洋入域船以外の漁船用 (Format 2: For vessels which don't enter Atlantic Ocean)

＜本紙を含めて船上保持すること＞

農林水産大臣 殿
ATTN: Your Excellency, Minister of Agriculture, Forestry and Fisheries of Japan

住所
Address

氏名又は名称
Name of Owner

かつお・まぐろ漁業に係る操業日誌 (総トン数120トン以上の動力漁船により、浮きはえ縄を使用するものに限る。)
The Logbook for Large Scale Tuna Longline Vessels

報告書総数(本紙含む)全 枚
Total pages including this covering sheet

報告年月日 Reporting date	年 月 日 Year Month Date	報告取扱責任者名 Name of Person in charge of reporting	TEL ()
船長名 Name of Master		船長住所 Address of Master	
出港年月日 Departure Date	年 月 日 Year Month Date	港 (PORT)	
入港年月日 Port Entering Date	年 月 日 Year Month Date	港 (PORT)	
航海日数 Number of Navigation Days	日 (Days)	操業回数 Number of Operation	回 (times)

船名 Name of Vessel			信号符号 Call Sign		許可番号 License No.	T 第 号
総トン数 Gross Tonnage	トン (tons)	漁船全長 Overall Length	m	漁船登録番号 Register Number		
RFMO 登録番号 RFMO Record No.	ICCAT				IOTC	
	IATTC	CCSBT	WCPFC			
乗組員数 Number of Crews	人		IMO番号 (有している場合のみ記入) IMO No. (If available)			

漁業種類 Type of Fishing Gear	1. かつお・まぐろ漁業(専業) Large Scale Tuna Longliner (Standard Abbreviation of ISSCFG: LLD)	
漁具 Fishing Gear	操業方法 Operation Method	1. メカ縄 (Swordfish Longliner) 2. サメ縄 (Shark Longliner) 3. その他 (Other)
	幹縄の種類 Material of Main line	1. クレモナロープ Thick rope (Cremona rope) 2. ポリエステル又はその他のロープ Thin rope (Polyethylene or other materials) 3. 編んだナイロン Nylon braided 4. 一本のナイロン Nylon monofilament
	枝縄の種類 Material of Branch line	1. ナイロン (Nylon) 2. その他 (Other)

漁具の仕立て Dimension of Fishing Gear	
枝縄長 Length of Branch line	m
浮縄長 Length of Buoy line	m
枝縄間隔 Interval of Branch line	m

かつお・まぐろ漁業に係る操業日誌(総トン数120トン以上の動力漁船により、浮きはえ縄を使用するものに限る。)(The Logbook for Large Scale Tuna Longline Vessels)

Signature of Master
船長署名

Page
頁

船名	丸	許可番号	第	号	信号符字
年 月 〔上旬(1～10日)、中旬(11～20日)、下旬(21日～月末)〕					出港年月日 年 月 日

日 Date	操業開始位置 * Position at starting to set the gear *				Activity (streaming / fishing / drifting)	航海・操業・漂流の状況	sea surface temperature 表面温度 ℃	Number of floats (一鉢当りの釣数) Number of hooks between floats	Total number of hooks used in the set	Number of light sticks used in the set	発光体の使用数 used in the set	餌の種類 Type of bait	Time of starting setting the gear	投縄開始時刻	混獲回避措置 Bycatch mitigation measure	魚種別漁獲量 (上段には尾数を、下段には製品重量(キログラム)を記入すること。) Upper Box : Number of pieces, Lower Box : Processed weight(kg)				
	緯 度 Latitude		経 度 Longitude													まぐろ 類 (Tunas)				
	度・分	N・S の別	度・分	E・W の別												くろまぐろ BFT/PBF	みなみまぐろ SBF	びんなが ALB	めばち BET	きはだ YFT
①	・	N S	・	E W			・													
②	・	N S	・	E W			・													
③	・	N S	・	E W			・													
④	・	N S	・	E W			・													
⑤	・	N S	・	E W			・													
⑥	・	N S	・	E W			・													
⑦	・	N S	・	E W			・													
⑧	・	N S	・	E W			・													
⑨	・	N S	・	E W			・													
⑩	・	N S	・	E W			・													
⑪	・	N S	・	E W			・													
陸揚等年月日 Date of offloading	陸揚港 (港名・国名) Port of offloading (Name・Country)			転載港 (港名・国名) Port of transshipment (Name・Country)			洋上転載の位置 Position of transshipment at sea (Lat/Long)				(1)陸揚等尾数合計 Total number of pieces of offloading									
	・			・			N S	・	E W	・	(2)陸揚等重量合計(トン/tons) Total weight of offloading									
運搬船名 Name of carrier vessel				運搬船の船籍 Flag of carrier vessel			運搬船のRFMO番号 RFMO No. of carrier vessel													

* 操業を行わなかった日については、正午位置を記載すること。
* Noon position must be recorded in case no operation is conducted during the day.

日	魚種別漁獲量(上段には尾数(「その他のさめ類」については、魚種No.及び尾数)を、下段には製品重量を記入すること。) Upper Box : Number of Pieces, Lower Box : Processed weight(kg)												
	かじき類 (Billfish)						かつお	がすとろ	その他の魚類 Other fish	さめ類 (Sharks)			
	めかじき SWO	まかじき MLS/WHM	くろかじき BUM	しろかじき BLM	ばしょうかじき SFA/SAI	ふうらいかじき SSP				よしきりざめ BSH	ねずみざめ POR/LMD	あおざめ SMA/MAK	その他さめ類 Other Sharks
①													() ()
②													() ()
③													() ()
④													() ()
⑤													() ()
⑥													() ()
⑦													() ()
⑧													() ()
⑨													() ()
⑩													() ()
⑪													() ()
(1)													() ()
(2)													() ()

魚種No.: 「10」:めじろざめ類(OCP)、「11」:よごれ(OCS)、「12」:くろとがりざめ(FAL)、「20」:おながざめ類(THR)、「21」:にたり(PTH)、「22」:はちわれ(BTH)、「23」:まおなが(ALV)「30」:しゅもくざめ類(SPN)、「31」:いんどしゅもくざめ(EUB)、「32」:ひらしゅもくざめ(SPK)、「33」:しろしゅもくざめ(SPZ)、「80」:その他のさめ類(SKH)

使用した餌の種類No.: 「1」:魚のみ(Only fish)、「2」:イカのみ(Only squid)、「3」:魚・イカ混合(Fish and squid)、「4」:その他(Others)

混獲回避措置No.: 「1」:トリライン1本(Single tori-line)、「2」:トリライン2本(Double tori-line)、「3」:夜間投縄(Night setting)、「4」:加重枝縄(Weighted line)、「5」:舷側吹流し・加重枝縄を併用した舷側投縄(Side setting with a bird curtain and weighted branch lines)、「6」:青色染色餌(Blue-dyed bait)、「7」:投縄機(Deep setting line shooter)、「8」:水中投縄機(Underwater setting chute)、「9」:残さ排出管理(Management of offal discharge)、「10」:実施せず(Not implemented)

【操業日誌の記載要領】

1. 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 版とする。
2. 操業日誌は別紙様式を表紙とし、時系列順に綴じた状態で船上保持すること。提出する場合も同様とすること。
3. 報告取扱責任者の欄には、操業日誌の作成責任者の氏名のほか、その者の連絡先として電話番号を必ず記載すること。
4. 出港年月日及び入港年月日の欄には、出入港した港の名称を必ず記載すること。
5. 航海日数及び操業回数の欄には、航海期間（出入港日を含む。）の日数及び操業回数の合計をそれぞれ記載すること。
6. RFM0 登録番号の欄には、各地域漁業管理機関における登録番号を記載すること。登録番号を取得していない場合は「なし」と記入すること。
7. 乗組員数の欄には、外国人船員を含めた乗組員の総数を記載すること。
8. 操業日誌は、航海中毎日記載することとし、航海期間については、本邦又は外国の港を出港した日から次の港（外国の地を含む。）に入港した日までの間とする。
9. 操業日誌は、旬毎に一枚記載することとする。
10. 漁具の欄は、該当するものを○印で囲むこと。（1 航海中複数の操業方法を用いた場合には、最も多く用いた操業方法を○印で囲むこと。）
11. 幹縄の種類欄は、幹縄にロープ系を用いた場合、クレモナのときは1を選択、その他の素材（例、テトロン、ベクトラン、ポリエステル、ナイロン短繊維、ダイニーマなど）は2を選択すること。幹縄にナイロン素材とは異なる透明もしくは半透明の素材（例、シーガー等）を用いた場合もナイロンとみなして記入すること。
12. 漁具の仕立ての欄については、枝縄長の欄にはスナップから ^{はり} 鈎 までの長さを、受け縄（浮玉）長の欄には浮玉から幹縄までの長さを、枝縄間隔の欄には幹縄における隣り合う枝縄の間隔をそれぞれメートル単位で記載すること。
13. 日の欄については、出港日から入港日まで毎日の日付を記載すること。
14. 操業開始位置の欄は、操業を行った日は操業開始位置とし、操業を行わなかった日（航行のみを行った日、魚群の探索のみを行った日、漂泊日）は正午位置とし、緯度及び経度の度分の欄には、必ず分単位までを記載し、N・Sの別及びE・Wの別の欄は、該当するものを○で囲むこと。
15. 航行・操業・漂泊の違いの欄には、操業開始位置（操業を行わなかった日（航行のみを行った日、魚群の探索のみを行った日、漂泊日）については、正午位置）におけるそれぞれ該当するものを記載すること。
16. 表面温度℃の欄には、操業開始位置（操業を行わなかった日（航行のみを行った日、魚群の探索のみを行った日、漂泊日）については、正午位置）における表面水温を小数点第1位まで記載すること。
17. 浮玉間の ^{はり} 鈎 数の欄には、浮玉間（一鉢当たり）の ^{はり} つり 鈎 又は枝縄の数を記載すること。
18. 使用つり ^{はり} 鈎 数の欄には、当該操業に使用したつり ^{はり} 鈎 の総数を記載すること。
19. 発光体使用数の欄には、当該操業に使用した発光体の総数を記載すること。なお、発光体を使用しなかった場合は0（ゼロ）を記載すること。
20. 餌の種類欄には、当該操業に使用した餌の種類番号を記載すること。餌の種類番号は順に、「1」：魚のみ(Only fish)、「2」：イカのみ(Only squid)、「3」：魚・イカ混合(Fish and squid)、「4」：その他(Others)とする。魚及びイカ以外を一部でも使用した場合は「4」のその他を選択すること。
21. 混獲回避措置の欄には、混獲回避措置番号を記載すること。混獲回避措置番号は順に、「1」：トリライン1本(Single tori-line)、「2」：トリライン2本(Double tori-line)、「3」：夜間投縄(Night setting)、「4」：加重枝縄(Weighted line)、「5」：舷側吹

流し・加重枝縄を併用した舷側投縄 (Side setting with a bird curtain and weighted branch lines)、「6」：青色染色餌 (Blue-dyed bait)、「7」：投縄機 (Deep setting line shooter)、「8」：水中投縄機 (Underwater setting chute)、「9」：残さ排出管理 (Management of offal discharge)、「10」：実施せず (Not implemented) とする。

22. 魚種別漁獲量の欄には、上段には漁獲尾数（その他のさめ類については、魚種番号及び漁獲尾数）を、下段には漁獲物の製品（以下単に「製品」という。）の重量をキログラム単位で記載すること。魚種番号は順に、「10」：めじろざめ類、「11」：よごれ、「12」：くるとがりざめ、「20」：おながざめ類、「21」：にたり、「22」：はちわれ、「23」：まおなが、「30」：しゅもくざめ類、「31」：いんどしゅもくざめ、「32」：ひらしゅもくざめ、「33」：しろしゅもくざめ、「80」：その他のさめ類、とする。
23. 陸揚等年月日の欄は、製品を陸揚げ又は転載した時の年月日を記載すること。
24. 陸揚港（港名・国名）の欄は、製品を陸揚げした際における港名と国名を記載すること。
25. 転載港（港名・国名）の欄は、製品を転載した際における港名と国名を記載すること。
26. 洋上転載の位置の欄は、洋上転載した際に記載するものとし、緯度及び経度の度分の欄には、必ず分単位までを記載し、N・Sの別及びE・Wの別の欄は、該当するものを○で囲むこと。
27. 運搬船名の欄は、製品を転載した運搬船名を記載すること。
28. 運搬船の船籍の欄は、運搬船の船籍を記載すること。
29. 運搬船の RFMO 番号の欄は、運搬船の RFMO（地域漁業管理機関）番号を記載すること。
30. 製品を陸揚げ又は転載した旬において、（1）陸揚等尾数合計及び（2）陸揚等重量合計（トン）の欄（太字内）に当該陸揚げ又は転載に係る魚種ごとの尾数の合計、総製品重量の合計をそれぞれ記載すること。

混獲生物等の情報

船長署名

船名	丸	許可番号	第	号	信号符字
年 月 【上旬(1～10日)、中旬(11～20日)、下旬(21日～月末)】					出港年月日 年 月 日

年 月 日	放流又は投棄した魚類						
	マグロ・カジキ類		サメ類				
			ヨシキリザメ	ネズミザメ	アオザメ	その他のサメ類	
(1) . .	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()	尾数	尾数	尾数	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()
(2) . .	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()	尾数	尾数	尾数	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()
(3) . .	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()	尾数	尾数	尾数	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()
(4) . .	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()	尾数	尾数	尾数	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()
(5) . .	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()	尾数	尾数	尾数	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()
(6) . .	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()	尾数	尾数	尾数	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()
(7) . .	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()	尾数	尾数	尾数	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()
(8) . .	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()	尾数	尾数	尾数	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()
(9) . .	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()	尾数	尾数	尾数	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()
(10) . .	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()	尾数	尾数	尾数	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()
(11) . .	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()	尾数	尾数	尾数	尾 数 魚種No.()	尾 数 魚種No.()

年 月 日	カ メ 類						鳥 類				
	アカ ウミガメ	アオ ウミガメ	オサガメ	タイマイ	ヒメ ウミガメ	その他のカメ類 及び不明	アホウドリ類	ミズナギ ドリ類	オオフルマ カモメ類	ペンギン類	その他の鳥類 及び不明
(1)	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()
(2)	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()
(3)	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()
(4)	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()
(5)	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()
(6)	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()
(7)	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()
(8)	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()
(9)	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()
(10)	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()
(11)	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()	全 数 生存数()

マグロ・カジキ類 魚種No.: ①クロマグロ、②ミナミマグロ、③ビンナガ、④メバチ、⑤キハダ、⑥メカジキ、⑦マカジキ、⑧クロカジキ、⑨シロカジキ、
⑩バショウカジキ、⑪フウライカジキ、⑫カツオ、⑬種不明

サメ類 魚種No. 「10」:メジロザメ類、「11」:ヨゴレ、「12」:クロトガリザメ、「20」:オナガザメ類、「21」:ニタリ、「22」:ハチワレ、「23」:マオナガ
「30」:シュモクザメ類、「31」:インドシュモクザメ、「32」:ヒラシュモクザメ、「33」:シロシュモクザメ、「80」:その他のサメ類、「90」:種不明

【混獲生物等の情報の記載要領】

1. 混獲生物等の情報は、航海中毎日記載すること。
2. 混獲生物等の情報は、旬毎に一枚ずつ記載すること。
3. カメ類・鳥類：上段の総混獲数、下段にその生存数（甲板上に引き揚げた時に生存していたもの）を記入する。全くない場合は0（ゼロ）を記入し、不明の場合は、その他及び不明の欄に記入する。

4. 放流又は投棄した魚類

（1）マグロ・カジキ類

尾数と魚種番号を記入する。全くない場合は0（ゼロ）を記入する。魚種番号は順に、①クロマグロ、②ミナミマグロ、③ビンナガ、④メバチ、⑤キハダ、⑥メカジキ、⑦マカジキ、⑧クロカジキ、⑨シロカジキ、⑩バショウカジキ、⑪フウライカジキ、⑫カツオ、⑬種不明、とする。

（2）サメ類

ヨシキリザメ、ネズミザメ、アオザメは尾数を、その他のサメ類は尾数と魚種番号を記入する。全くない場合は0（ゼロ）を記入する。魚種番号は順に、「10」：メジロザメ類、「11」：ヨゴレ、「12」：クロトガリザメ、「20」：オナガザメ類、「21」：ニタリ、「22」：ハチワレ、「23」：マオナガ、「30」：シュモクザメ類、「31」：インドシュモクザメ、「32」：ヒラシュモクザメ、「33」：シロシュモクザメ、「80」：その他のサメ類、「90」：種不明、とする。

許可を受けた者の氏名、連絡先及び住所	氏名：	TEL:			
報告年月日	年	月	日	船長名	
出港年月日	年	月	日	港	
入港年月日	年	月	日	港	
航海日数	日	操業日数	日		

船名	丸
総トン数	トン
許可番号	第 号
漁船登録番号	
信号符号	
乗組員数	人

漁業種類	1 かつお・まぐろ漁業(専業) 2 かつお・まぐろ漁業(兼業)
漁具	操業方法 1 メカ縄 2 サマ縄 3 その他 幹縄の種類 1 ナイロン 2 その他 枝縄の種類 1 ナイロン 2 その他

枝縄長	m
受け縄(浮玉)長	m
枝縄間隔	m
操業区域	1 近海 2 小型

年 月 日	操業開始位置*			航行・ 操業・ 漂泊の 速い	投 縄 回 数	表 面 温 度 ℃	(操 日 業 日 開 本 時 始 始 時 間
-------------	---------	--	--	-------------------------	------------------	-----------------------	--

*操業を行わなかった日については、正午位置(日本時間)を記載すること。
**メカリングJは、リングのような形状をしたメカジキを対象とした漁具の一つです。メカリングは、つり鉤の代わりに枝縄に付けて使用されます。

(備考)

- 紙媒体で提出する場合、用紙の大きさは日本工業規格B4版とし、横長に使用すること。
- 操業日誌の写しを漁獲成績報告書として農林水産大臣に提出する場合は、許可を受けた者の氏名又は名称及び住所を記載した表紙(様式自由)を添付の上、陸揚げ後10日以内に農林水産大臣へ提出すること。
- 操業日誌は、航海ごとで作成し、航海中には毎日(本邦の港を出港した日から本邦の港に入港した日まで)記載すること。海外基地式操業を行うものにおいては、本邦又は外国の港を出港した日から次の港(外国の地を含む。)に入港した日までの間とする。航海ごとに1枚の用紙を使用し、1航海当たりの航海日数が長く、報告事項が2枚以上にわたる場合は、陸揚等尾数合計及び陸揚等製品重量合計(キログラム)の欄は1枚目のにみ記載すること。
- 操業日誌には、許可を受けた者の氏名、住所及び連絡先として電話番号を必ず記載すること。
- 出港年月日及び入港年月日の欄には、日本時間における日付を記載すること。また、出入港した港の名称も併せて記載すること。
- 航海日数及び操業日数の欄には、航海期間(出入港日を含む。)の日数及び操業日数の合計をそれぞれ記載すること。
- 取扱責任者の欄には、日誌の記載及び保管を行う主たる者の名前を記載すること。
- 信号符字を有する場合は、信号符字を記載すること。
- 乗組員数の欄には、外国人船員を含めた乗組員の総数を記載すること。
- 漁業種類の欄については、当該船舶がかつお・まぐろ類を主たる漁業対象として扱う場合、「1」を、それ以外の場合は「2」をそれぞれ○印で囲むこと。
- 漁具の操業方法の欄のメッシュ網とは、めかじきを対象とする夜網をいい、サメ網とは、ねずみざめ等のさめ類を対象とする網をいう。1航海中複数の操業方法を用いた場合には、最も多く用いた操業方法を○印で囲むこと(まぐろ類を対象とする操業にあってはその他を○印で囲むこと)。漁具の欄のうち幹縄の種類の欄については、縄のほとんどがナイロンでできているものについてののみナイロンを、それ以外のものについてはその他を○印で囲むこと。
- 漁具の仕立ての欄については、枝縄長の欄にはスナップから鉤までの長さ、受け縄(浮玉)長の欄には浮玉から幹縄までの長さを、枝縄間隔の欄には幹縄における隣り合う枝縄の間隔をそれぞれメートル単位で記入すること。
- 操業区域の欄には、当該船舶が操業の許可を受けた区域が「近海」である場合には1を、「小型」である場合には2を記入すること。
- 操業期間の欄については、航海中に最初の投縄を行った年月日と最終の投縄を行った年月日を記載すること。
- 年月日の欄については、出港日から入港日まで毎日の日付を記載すること。なお、操業に係る日付はすべて日本時間に基づくものとする。
- 操業開始位置の欄は、航行・操業・漂泊の欄が「操業」の日には当該操業日における操業開始位置を、「航行」又は「漂泊」の日には日本時間の正午における船舶の位置を記入すること。また、緯度及び経度の度の欄には、必ず分単位までを記載し、N-Sの欄及びE-Wの欄においては、該当するものを○印で囲むこと。
- 航行・操業・漂泊の欄は、操業開始位置(航行のみを行った日又は漂泊日については日本時間の正午における船舶の位置)におけるそれぞれ該当するものを○印で囲むこと。
- 投縄回数(釣数の欄)には、当該操業日に開始された投縄の回数を記載すること(投縄が複数日にまたがる場合には、当該投縄を開始時点の日付の投縄として回数を計上することとする。))。
- 表面温度の欄は毎日、当該操業日における操業開始位置(航行のみを行った日及び魚群の探索のみを行った日又は漂泊日については日本時間の正午位置)における表面水温を小数点第1位まで記載すること。
- 操業開始時刻及び操業終了時刻の欄は、日本時間における時刻を24時刻で1分単位まで記載すること。操業が当該操業の開始日の翌日にまたがる場合には、操業終了時刻を48時刻で表記を行うこと(例：操業終了時刻が翌日の午前1時30分の場合、25:30と記載すること。)。なお、投縄を当該操業日中に複数回行う場合には、当該操業日の最初の投縄を開始した時点を「操業開始時刻」とし、当該操業日に開始した最後の投縄の揚げ縄が終了した時点を「操業終了時刻」とする。なお、操業を行わなかった日(航行のみを行った日又は漂泊日)は空欄とすることとする。
- 浮玉間の釣数の欄には、浮玉間(一鉢当たり)のつり鉤又は枝縄の数を記載すること。
- 使用つり鉤数の欄には、当該操業日に開始された全ての投縄に使用したつり鉤の総数を記載すること。なお、使用つり鉤数には、当該操業日に使用されたメカリングの使用数を含まないものとする。
- メカリングの使用数の欄には、当該操業日に開始された全ての投縄に使用したメカリングの総数を記載すること。なお、メカリングを使用しなかった場合は0(ゼロ)を記載すること。
- 魚種別漁獲量の欄には、当該操業日に開始された全ての投縄による漁獲物の合計を記載すること。上段には漁獲尾数を、下段には漁獲物の製品(以下「製品」という。)の重量をキログラム単位で記載すること。なお、めかじき(総量)の列には、めかじきの漁獲量の総量を記載し、めかじき(うちメカリング**)の列には、漁獲されためかじきのうち、メカリングを使用したものを記載すること。
- 陸揚等尾数合計及び陸揚等製品重量合計(必ずキログラム単位で記載すること。)の欄には、製品を陸揚げ又は転載した際の仕切り書(水揚げ伝票)に基づく、魚種ごとの尾数の合計及び製品重量の合計をそれぞれ記載すること。
- 1航海当たりの航海日数が長く、報告事項が2枚以上にわたる場合は、用紙の右肩に当該報告書の総枚数とその頁数を記載すること(例えば、総枚数が5枚の場合には1枚目の用紙に1/5、2枚目の用紙に2/5のように記載し、以下同様に記載する。))。

【記載要領】

1. 漁業種類：該当するものに○印を付すこと。試験研究等には、水産高等学校、大学等の実習船・調査船が該当する。
2. 混獲生物等の情報は、航海中毎日記載すること。
3. カメ類・鳥類：上段の総混獲数、下段にその生存数（甲板上に引き揚げた時に生存していたもの）を記入すること。全くない場合は0（ゼロ）を記入し、不明の場合は、その他及び不明の欄に記入。
4. 放流又は投棄した魚類：
 - (1) マグロ・カジキ類：尾数と魚種番号を記入すること。全くない場合は0（ゼロ）を記入すること。魚種番号は順に、①クロマダ、②ミナミマダ、③ビンナガ、④メバチ、⑤キハダ、⑥メカジキ、⑦マカジキ、⑧クロカジキ、⑨シロカジキ、⑩パショウウカジキ、⑪フウライウカジキ、⑫カツオ、⑬種不明とする。
 - (2) サメ類：ヨシキリザメ、ネズミザメ、アオザメは尾数を、その他のサメ類は尾数と魚種番号を記入すること。全くない場合は0（ゼロ）を記入すること。魚種番号は順に、「10」：メジロザメ類、「11」：ヨゴレ、「12」：クロトガリザメ、「20」：オナガザメ類、「21」：ニタリ、「22」：ハチワレ、「23」：マオナガ、「30」：シモモクザメ類、「31」：インドシモモクザメ、「32」：ヒラシモモクザメ、「33」：シロシモモクザメ、「80」：その他のサメ類、「90」：種不明とする。
5. 1航海当たりの捕獲日数が多く報告項目が2枚以上におわたる場合は、用紙の右肩に当該報告書の総枚数とその頁数を記載すること（例えば、総枚数が5枚の場合は1枚目の用紙に1／5、2枚目の用紙に2／5のように記載し、以下同様に記載する）。

(備考)

1. 紙媒体で提出する場合、用紙の大きさは日本工業規格B4版とし、横長に使用すること。
2. 操業日誌の写しを農林水産大臣に提出する場合は、漁業の許可を受けた者の名前又は名称及び住所を記載した表紙(様式自由)を添付の上、陸揚げ後10日以内に農林水産大臣へ提出すること。
3. 操業日誌は航海ごとに作成し、航海中は毎日(本邦の港を出港した日から本邦の港に入港した日まで)記載すること。航海ごとに1枚の用紙を使用し、1航海当たりの航海日数が長く、報告事項が2枚以上にわたる場合は、航海日数、操業日数、陸揚金額並びにこの航海の漁獲量及びこの航海の漁獲金額の欄は1枚目のみに記載すること。
4. 許可番号の欄は、番号の数字のみを記載すること。
5. 漁業種類の欄は該当するものを○印で囲むこと。
6. 操業区域の欄は該当するものを○印で囲むこと。
7. 年月日、日本時間における正午位置及び魚種別漁獲量の欄は、毎日記載すること。なお、操業を行った日(探索のみで終わった日を含む)は操業の態勢を取った時、すなわち探索を開始した時点の位置を「操業開始位置」とし、操業を行わなかった日(航行のみを行った日、漂泊日)は日本時間での正午位置を記載すること。緯度及び経度の度分の欄には、必ず分単位までを記載し、N-Sの別及びE-Wの別の欄は該当するものを○印で囲むこと。
8. 航行・操業・漂泊の欄は、操業開始位置又は日本時間での正午位置(航行のみ行った日又は漂泊日)におけるそれぞれ該当するものを○で囲むこと。(探索は操業の欄を○で囲むこと。)
9. 操業開始時刻及び操業終了時刻の欄は、日本時間における時刻を24時刻で1分単位まで記載すること。操業が当該操業日の翌日にまたがる場合には、操業終了時刻を48時刻で表記を行うこと。
(例:操業終了時刻が翌日の午前1時30分の場合、25:30と記載すること。)。なお、操業を行わなかった日(航行のみを行った日、魚群の探索のみを行った日又は漂泊日)は空欄とすることとする。
10. 操業開始時刻は、その日の漁ろう活動が(探索も含む)開始された時刻。操業終了時刻の欄には、その日の漁労活動が終了した時刻とする。
11. 表面温度℃の欄には、操業開始位置又は日本時間での正午位置(航行のみを行った日又は漂泊日)における表面水温を小数第1位まで記載すること。
12. 操業回数については、操業を行った日(探索のみで終わった日を含む)の場合は「1」を、航行のみを行った日又は漂泊日の場合は「0」を記載すること。
13. 魚種別漁獲量の欄及び目廻りの欄は、トン及びキログラム単位で小数点以下2位四捨五入し、小数点以下1位まで記載することとし、目廻りは平均値を記載すること。
14. こしながの漁獲があった場合には、特記事項に記載すること。
15. この航海の漁獲量及びこの航海の金額の欄については、仕切り書(水揚げ伝票)に基づいた陸揚げ量をトン単位で小数点以下2位四捨五入し、小数第1位まで記載すること。

混獲生物等の情報

枚目 / 枚

(調査票の総数)

漁業種類	1 はえ縄 (総トン数120トン未満に限る。)			2 釣り	3 試験操業	航海期間	年	月	日から	年	月	日まで
船名	計可番号	第	号	信号符字	報告取扱責任者	TEL： ()						

年月日	カメ 類					鳥 類					放流または投棄した魚類					備考	
	アカウミガ メ	アオウミガ メ	オサガメ	タイマイ	ヒメウミガ メ	その他カメ 類及び不明	アホウドリ 類	ミズナギドリ 類	オオフルマ カモメ類	ペンギン類 (南半球の み)	その他の鳥 類及び不明	マグロ・カジキ類		サメ類			
												ヨシキリ ザメ	ネズミ ザメ	アオザメ	その他のサメ類		
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数	尾数
	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	生存数 ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()	魚種No. ()
	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数	全数								

甲らの唄い海亀：アカウミガメ、アオウミガメ、ヒメウミガメ、タイマイ、ヒラタウミガメ

マグロ・カジキ類 魚種No：①クロマダ、②ミンナミマダ、③ビンナガ、④メバチ、⑤キハダ、⑥メカジキ、⑦マカジキ、⑧クロカジキ、⑨シロカジキ、⑩パシヨウカジキ、⑪フウライカジキ、⑫カツオ、⑬種不明

サメ類 魚種No.：「10」：メジロサメ類、「11」：ヨゴレ、「12」：クロトガリサメ、「20」：オナガサメ類、「21」：ニタリ、「22」：ハチフレ、「23」：マオナガ、「30」：シエモクサメ類、「31」：インドシエモクサメ、

「32」：ヒラシエモクサメ、「33」：シロシエモクサメ、「80」：その他のサメ類、「90」：種不明

【記載要領】

1. 漁業種類：該当するものに○印を付すこと。試験研究等には、水産高等学校、大学等の実習船・調査船が該当する。
2. 混獲生物等の情報は、航海中毎日記載すること。
3. カメ類・鳥類：上段の総混獲数、下段にその生存数（甲板上に引き揚げた時に生存していたもの）を記入すること。全くない場合は0（ゼロ）を記入し、不明の場合は、その他及び不明の欄に記入。
4. 放流又は投棄した魚類：
 - (1) マグロ・カジキ類：尾数と魚種番号を記入すること。全くない場合は0（ゼロ）を記入すること。魚種番号は順に、①クロマグロ、②ミナミマグロ、③ビンナガ、④メバチ、⑤キハダ、⑥メカジキ、⑦マカジキ、⑧クロカジキ、⑨シロカジキ、⑩パショウウカジキ、⑪フウライウカジキ、⑫カツオ、⑬種不明とする。
 - (2) サメ類：ヨシキリザメ、ネズミザメ、アオザメは尾数を、その他のサメ類は尾数と魚種番号を記入すること。全くない場合は0（ゼロ）を記入すること。魚種番号は順に、「10」：メジロザメ類、「11」：ヨゴレ、「12」：クロトガリザメ、「20」：オナガザメ類、「21」：ニタリ、「22」：ハチワレ、「23」：マオナガ、「30」：シユモクザメ類、「31」：インドシユモクザメ、「32」：ヒラシユモクザメ、「33」：シロシユモクザメ、「80」：その他のサメ類、「90」：種不明とする。
5. 1航海当たりの捕獲日数が多く報告項目が2枚以上におわたる場合は、用紙の右肩に当該報告書の総枚数とその頁数を記載すること（例えば、総枚数が5枚の場合は1枚目の用紙に1／5、2枚目の用紙に2／5のように記載し、以下同様に記載する）。

備考

- 紙媒体で提出する場合、用紙の大きさは、日本工業規格B4版とし、横長に使用すること。
- 操業日誌の写しを農林水産大臣に提出する場合は、漁業者名又は名称及び住所を記載し、提出すること。
- 航海中は毎日操業日誌を記録すること。探索及び操業年月日の欄は、航行のみを行った日、魚群の探索のみを行った日、操業を行った日の投網ごと(漁獲のなかった場合を含む。)及び漂泊のみを行った日を記載すること。
- 航海日数の欄には、航海期間(出入港日を含む。)の日数の合計を、操業日数の欄には、操業日数の合計を、探索日数の合計を、魚群の探索のみを行った日数の合計をそれぞれ記載すること。
- 乗組員数の欄には、外国人船員を含めた乗組員の総数を記載すること。
- 群れの型の欄には、群れの型の分類の中から該当する番号を記載すること。ただし、次の7及び8に掲げる群れの型の分類を選択する場合は、留意すること。
- 群れの型の分類中(01)流水・流れものについては、以下のような操業を行った場合とする。
- (1)天然流水による操業

(2)海藻、ごみの固まり、板、ビニールシート、ロープ類、網類、浮子、カヌー、船の破片、ドラム缶等の流れ物による操業

(3)天然流水、流れ物にラジオブイを取り付けたものによる操業

(4)天然流水、流れ物に人工物を取り付けたものによる操業
- 群れの型の分類中(02)人工筏については、以下のような操業を行った場合とする。
- (1)自船又は他船で作成した人工筏による操業

(2)自船又は他船で作成した人工物による操業
- 投網位置の欄には、航行のみを行った日、魚群の探索のみを行った日及び漂泊のみを行った日については正午(日本時間)位置を、操業を行った日については投網位置を、北緯、南緯、東経又は西経の別にそれぞれN、E、S、又はWを○印で囲むとともに、度数で示すこと。
- 水温℃の欄には、投網位置(操業を行わなかった日については、正午(日本時間)位置)における表面水温を小数点第1位まで記載すること。
- 操業開始時刻及び操業終了時刻の欄は、日本時間における時刻を24時制で1分単位まで記載すること。
- 魚種別陸揚量欄には計測重量(例：水揚げ伝票に記載された重量)を記載すること。

ジンベエザメ等混獲調査票

年月日	混獲した位置				E E Z ／公海の別	ジンベエザメ ／鯨類の別	個体数	混獲の要因	放流方法	放流後の状況	備考
	N			E	(1) E E Z (2) 公海	(1) ジンベエザメ (2) 鯨類		(1) 投網前に視認で きなかった (2) その他	(1) 浮子下げ (2) 網切り (3) その他	(1) 生存・遊泳 (2) 放流前に死亡 (3) その他	
	N			E	(1) E E Z (2) 公海	(1) ジンベエザメ (2) 鯨類		(1) 投網前に視認で きなかった (2) その他	(1) 浮子下げ (2) 網切り (3) その他	(1) 生存・遊泳 (2) 放流前に死亡 (3) その他	
	N			E	(1) E E Z (2) 公海	(1) ジンベエザメ (2) 鯨類		(1) 投網前に視認で きなかった (2) その他	(1) 浮子下げ (2) 網切り (3) その他	(1) 生存・遊泳 (2) 放流前に死亡 (3) その他	
	N			E	(1) E E Z (2) 公海	(1) ジンベエザメ (2) 鯨類		(1) 投網前に視認で きなかった (2) その他	(1) 浮子下げ (2) 網切り (3) その他	(1) 生存・遊泳 (2) 放流前に死亡 (3) その他	
	N			E	(1) E E Z (2) 公海	(1) ジンベエザメ (2) 鯨類		(1) 投網前に視認で きなかった (2) その他	(1) 浮子下げ (2) 網切り (3) その他	(1) 生存・遊泳 (2) 放流前に死亡 (3) その他	
	N			E	(1) E E Z (2) 公海	(1) ジンベエザメ (2) 鯨類		(1) 投網前に視認で きなかった (2) その他	(1) 浮子下げ (2) 網切り (3) その他	(1) 生存・遊泳 (2) 放流前に死亡 (3) その他	
	N			E	(1) E E Z (2) 公海	(1) ジンベエザメ (2) 鯨類		(1) 投網前に視認で きなかった (2) その他	(1) 浮子下げ (2) 網切り (3) その他	(1) 生存・遊泳 (2) 放流前に死亡 (3) その他	
	N			E	(1) E E Z (2) 公海	(1) ジンベエザメ (2) 鯨類		(1) 投網前に視認で きなかった (2) その他	(1) 浮子下げ (2) 網切り (3) その他	(1) 生存・遊泳 (2) 放流前に死亡 (3) その他	
	N			E	(1) E E Z (2) 公海	(1) ジンベエザメ (2) 鯨類		(1) 投網前に視認で きなかった (2) その他	(1) 浮子下げ (2) 網切り (3) その他	(1) 生存・遊泳 (2) 放流前に死亡 (3) その他	
	N			E	(1) E E Z (2) 公海	(1) ジンベエザメ (2) 鯨類		(1) 投網前に視認で きなかった (2) その他	(1) 浮子下げ (2) 網切り (3) その他	(1) 生存・遊泳 (2) 放流前に死亡 (3) その他	
	N			E	(1) E E Z (2) 公海	(1) ジンベエザメ (2) 鯨類		(1) 投網前に視認で きなかった (2) その他	(1) 浮子下げ (2) 網切り (3) その他	(1) 生存・遊泳 (2) 放流前に死亡 (3) その他	

【記載要領】

1. ジンベエザメ又は鯨類の混獲があった場合に、操業ごとに記載すること。
2. ジンベエザメ・鯨類を混獲した場合は、混獲（投網）した位置及び個体数を記入し、ジンベエザメ・鯨類の別及び混獲の詳細について該当する番号に○をすること。
その他を選択した場合は、具体的内容を備考欄に記入すること。

(操業海区)

インド洋

大中型まき網漁業(うち海外まき網漁業) 操業日誌

(かつお・まぐろ類の採捕に係るもの)(年月分)

住所氏名又は名称

報告年月日船長名報告取扱責任者名主たる漁業根拠地漁具の規模管轄都道府県名乗組員数人

港出港港入港航海回数探業回数回探索回数回航海数探索航空機使用有・無補助船舶使用有・無補助船名(IOTC登録番号)

群の型の分類(01)流れもの(02)人工筏(06)素群・水持(07)白わき・餌もち(03)鯨つき(04)鯨つか(05)イルカつき(08)はね群(09)その他

漁船登録番号信号符号船舶名信符号号許可番号まさ第総トン数トントン探索回数回航海数回探索航空機使用有・無補助船舶使用有・無補助船名(IOTC登録番号)

魚種別漁獲量(トン)くちまぐろ

養殖用種苗尾数1尾当たりの平均魚体重(kg)

合計

[illegible]

備考

- 1 紙媒体で提出する場合、用紙の大きさは、日本工業規格B4版とし、横長に使用すること。
- 2 操業日誌の写しを農林水産大臣に提出する場合は、漁業者名又は名称及び住所を記載し、提出すること。
- 3 航海中は毎日操業日誌を記録すること。探索及び操業年月日の欄は、航行のみを行った日、魚群の探索のみを行った日、操業を行った日の投網ごと(漁獲のなかった場合を含む。)及び漂流のみを行った日を記載すること。
- 4 航海日数の欄には、航海期間(出入港日を含む。)の日数の合計を、操業日数の欄には、操業日数の合計を、探索日数の欄には、魚群の探索のみを行った日数の合計をそれぞれ記載すること。
- 5 乗組員数の欄には、外国人船員を含めた乗組員の総数を記載すること。
- 6 群れの型の欄には、群れの型の分類中から該当する番号を記載すること。ただし、次の7及び8に掲げる群れの型の分類を選択する場合は、留意すること。
- 7 群れの型の分類中(01) 流木・流れものについては、以下のような操業を行った場合とする。
 - (1) 天然流木による操業
 - (2) 海藻、ごみの固まり、板、ビニールシート、ロープ類、網類、浮子、カヌー、船の破片、ドラム缶等の流れ物による操業
 - (3) 天然流木、流れ物にラジオブイを取り付けたものによる操業
 - (4) 天然流木、流れ物に人工物を取り付けたものによる操業
- 8 群れの型の分類中(02) 人工筏については、以下の様な操業を行った場合とする。
 - (1) 自船又は他船で作成した人工筏による操業
 - (2) 自船又は他船で作成した人工物による操業
- 9 投網位置の欄には、航行のみを行った日、魚群の探索のみを行った日及び漂流のみを行った日については正午(日本時間)位置を、操業を行った日については投網位置を、北緯、南緯、東経又は西経の別にそれぞれN、E、S、又はWを○印で囲むとともに、度数で示すこと。
- 10 水温℃の欄には、投網位置(操業を行わなかった日については、正午(日本時間)位置)における表面水温を小数点第1位まで記載すること。
- 11 操業開始時刻及び操業終了時刻の欄は、日本時間における時刻を24時刻で1分単位まで記載すること。
- 12 魚種別陸揚量欄には計測重量(例：水揚げ伝票に記載された重量)を記載すること。
- 13 補助船とは、人工筏又は人工物を設置する目的のみの船を指す。
- 14 補助船使用については、同船が設置した人工筏又は人工物による操業を当該航海中に行った場合に記載すること。
- 15 補助船が設置した人工筏又は人工物による操業をした場合は、補助船名(OTC登録番号含む)の欄に記載することとする。
- 16 サメ類を漁獲した場合、○に魚種No.を記載し、その重量を記載すること。魚種No.:「11」:ヨコシ、「12」:クロトガリザメ、「20」:オナガザメ類、「40」:ジンベイザメ、「80」:その他のサメ類、「90」:種不明のサメを記載すること。

票調査等生物獲得（業漁網）（海外）まき型中大

[illegible]

マダゴ・カジキ類 魚種No. : ①クロマダゴ、②ミナミマダゴ、③ビンナガ、④メバチ、⑤キハダ、⑥メカジキ、⑦マカジキ、⑧クロカジキ、⑨シロカジキ、⑩パシヨウカジキ、⑪フウライカジキ、⑫カツオ、⑬種不明
ササメ類・鯨類 魚種No. : 「10」：メジロザメ類、「11」：ヨゴレ、「12」：クロトガリザメ、「20」：オナガザメ類、「21」：ニタリ、「22」：ハチワレ、「23」：マオナガ、「30」：シエモクザメ類、「31」：インドシエモクザメ、「32」：ヒラシエモクザメ、「33」：シロシエモクザメ、「40」：ジンベエザメ、「40」：その他のサメ類、「90」：種不明のサメ、「99」：鯨類

【記載要領】

1. 混獲生物等の情報は、航海中毎日記載すること。
2. カメ類・鳥類：上段の総混獲数、下段にその生存数（甲板上に引き揚げた時に生存していたもの）を記入すること。全くない場合は0（ゼロ）を記入し、不明の場合は、その他及び不明の欄に記入すること。
3. 放流又は投棄した魚類：
- （1）マダロ・カジキ類：尾数及び魚種番号を記入すること。全くない場合は0（ゼロ）を記入する。魚種番号は順に、①クロマダロ、②ミナミマダロ、③ピンナガ、④メバチ、⑤キハダ、⑥メカジキ、⑦マカジキ、⑧クロカジキ、⑨シロカジキ、⑩パシヨウカジキ、⑪フウライカジキ、⑫カツオ、⑬種不明とする。
- （2）サメ類・鯨類：ヨシギリザメ、ネズミザメ、アオザメは尾数を、その他のサメ類は尾数及び魚種番号を記入すること。全くない場合は0（ゼロ）を記入すること。魚種番号は順に、「10」：メジロザメ類、「11」：ヨゴレ、「12」：クロトラギザメ、「21」：オナガザメ類、「22」：ナタメ、「23」：マオナガ、「30」：シモエゾザメ類、「31」：インドシモエゾザメ、「32」：ヒラシモエゾザメ、「33」：シロシモエゾザメ、「40」：ジンベエザメ、「80」：その他のサメ類、「90」：種不明のサメ、「99」：鯨類とする。

ジンベエザメ等混獲調査票

年月日	混獲した位置				E E Z ／公海の別	ジンベエザメ ／鯨類の別	個体数	混獲の要因	放流方法	放流後の状況	備考
	N			E	(1) E E Z (2) 公海	(1) ジンベエザメ (2) 鯨類		(1) 投網前に視認で きなかった (2) その他	(1) 浮子下げ (2) 網切り (3) その他	(1) 生存・遊泳 (2) 放流前に死亡 (3) その他	
	N			E	(1) E E Z (2) 公海	(1) ジンベエザメ (2) 鯨類		(1) 投網前に視認で きなかった (2) その他	(1) 浮子下げ (2) 網切り (3) その他	(1) 生存・遊泳 (2) 放流前に死亡 (3) その他	
	N			E	(1) E E Z (2) 公海	(1) ジンベエザメ (2) 鯨類		(1) 投網前に視認で きなかった (2) その他	(1) 浮子下げ (2) 網切り (3) その他	(1) 生存・遊泳 (2) 放流前に死亡 (3) その他	
	N			E	(1) E E Z (2) 公海	(1) ジンベエザメ (2) 鯨類		(1) 投網前に視認で きなかった (2) その他	(1) 浮子下げ (2) 網切り (3) その他	(1) 生存・遊泳 (2) 放流前に死亡 (3) その他	
	N			E	(1) E E Z (2) 公海	(1) ジンベエザメ (2) 鯨類		(1) 投網前に視認で きなかった (2) その他	(1) 浮子下げ (2) 網切り (3) その他	(1) 生存・遊泳 (2) 放流前に死亡 (3) その他	
	N			E	(1) E E Z (2) 公海	(1) ジンベエザメ (2) 鯨類		(1) 投網前に視認で きなかった (2) その他	(1) 浮子下げ (2) 網切り (3) その他	(1) 生存・遊泳 (2) 放流前に死亡 (3) その他	
	N			E	(1) E E Z (2) 公海	(1) ジンベエザメ (2) 鯨類		(1) 投網前に視認で きなかった (2) その他	(1) 浮子下げ (2) 網切り (3) その他	(1) 生存・遊泳 (2) 放流前に死亡 (3) その他	
	N			E	(1) E E Z (2) 公海	(1) ジンベエザメ (2) 鯨類		(1) 投網前に視認で きなかった (2) その他	(1) 浮子下げ (2) 網切り (3) その他	(1) 生存・遊泳 (2) 放流前に死亡 (3) その他	
	N			E	(1) E E Z (2) 公海	(1) ジンベエザメ (2) 鯨類		(1) 投網前に視認で きなかった (2) その他	(1) 浮子下げ (2) 網切り (3) その他	(1) 生存・遊泳 (2) 放流前に死亡 (3) その他	
	N			E	(1) E E Z (2) 公海	(1) ジンベエザメ (2) 鯨類		(1) 投網前に視認で きなかった (2) その他	(1) 浮子下げ (2) 網切り (3) その他	(1) 生存・遊泳 (2) 放流前に死亡 (3) その他	
	N			E	(1) E E Z (2) 公海	(1) ジンベエザメ (2) 鯨類		(1) 投網前に視認で きなかった (2) その他	(1) 浮子下げ (2) 網切り (3) その他	(1) 生存・遊泳 (2) 放流前に死亡 (3) その他	
	N			E	(1) E E Z (2) 公海	(1) ジンベエザメ (2) 鯨類		(1) 投網前に視認で きなかった (2) その他	(1) 浮子下げ (2) 網切り (3) その他	(1) 生存・遊泳 (2) 放流前に死亡 (3) その他	

【記載要領】

1. ジンベエザメ又は鯨類の混獲があった場合に、操業ごとに記載すること。
2. ジンベエザメ・鯨類を混獲した場合は、混獲（投網）した位置及び個体数を記入し、ジンベエザメ・鯨類の別及び混獲の詳細について該当する番号に○をすること。
その他を選択した場合は、具体的内容を備考欄に記入すること。